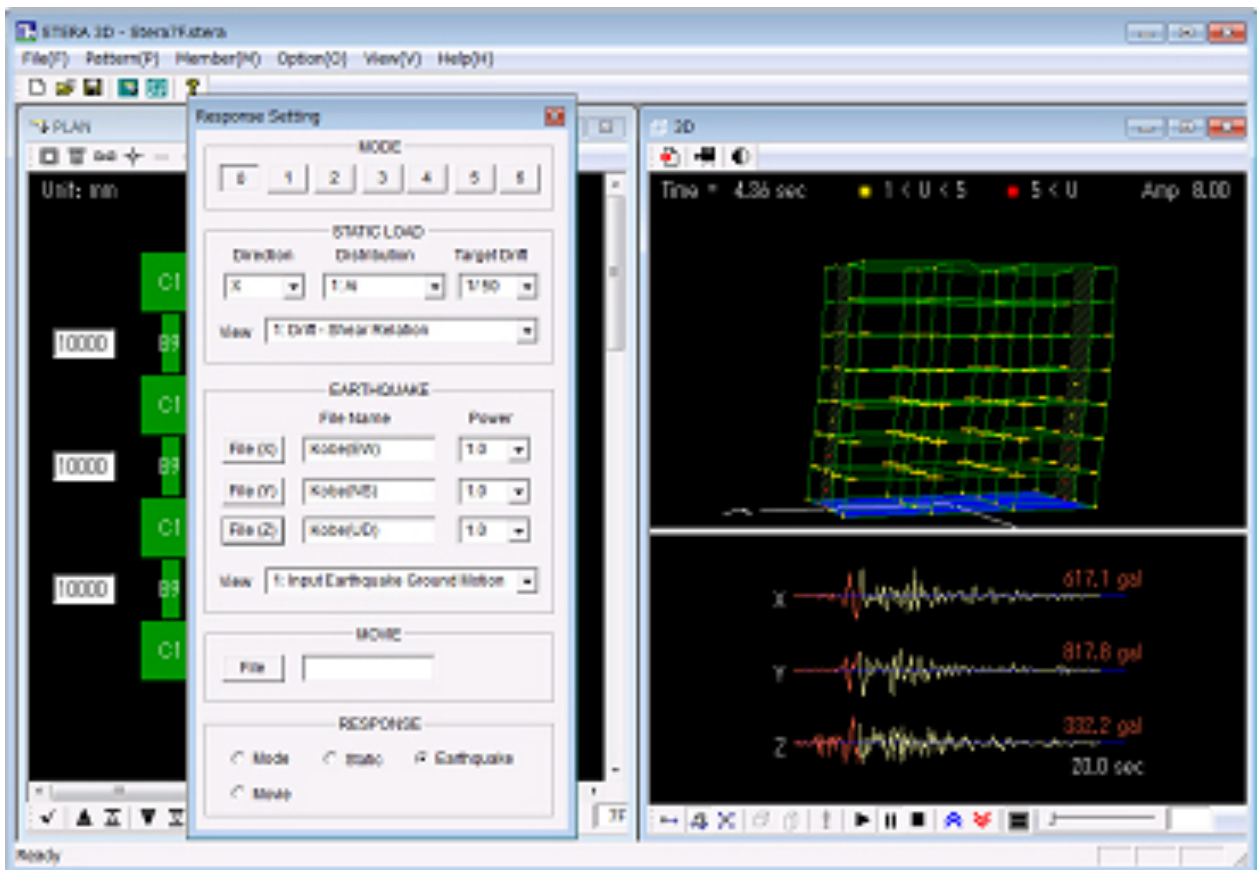


# 建築構造物の地震時応答を解析する

1. 担当教員：五十子 幸樹 教授（連絡先:022-752-2116, e-mail: ikago@archi.tohoku.ac.jp）
2. 受入人数：最大 8 名
3. 実施時期：2020 年 9 月 17 日（木）～18 日（金）（集中講義）
4. 初回開始日及び場所：2020 年 9 月 17 日（木）8：50 災害科学国際研究所 E 4 0 2 室
5. 概要

建築構造物に常時荷重や地震・強風のような外乱が作用した時の挙動はコンピュータにより解析され、安全性の検証が行われている。有限要素法(FEM)に代表される構造解析技術の発展とコンピュータの処理能力の向上を背景として、大規模な構造物や複雑な形状の構造物の地震時時刻歴応答解析も困難ではなくなった。本研修テーマでは、3次元立体建築構造物の地震時時刻歴応答計算が可能な STERA-3D や OpenSees を用いた建物構造物の解析を体験しながら、建築構造物の構造設計がどのような手順で行われているのか、また、建築物の構造設計においてどのようなことを考えていかなければならないかについて学ぶ。



STERA-3D の操作画面の一例（出典：豊橋技術科学大学地震災害工学研究室 Web ページ）